

病防第124号
平成24年 3月12日

各関係機関長 様

熊本県病害虫防除所長

平成23年産飼料用米におけるトビイロウンカおよびセジロウンカの発生推移
(技術情報第15号) について (送付)
このことについて、下記のとおり取りまとめましたので、業務の参考に御活用下さい。

記

平成22年、県内の飼料用米では主食用米に比べ、トビイロウンカの多発生による坪枯れやセジロウンカの多発生による吸汁害およびイネ南方黒すじ萎縮病の被害が多い傾向にあり、飼料用米では主食用米に比べ2種ウンカが増殖しやすい可能性が考えられた。そこで、平成23年の飼料用米における2種ウンカの発生推移を調査した。

1 調査概要

(1) 調査地点および品種

地点	品種 ^{注1)}	備考
宇城市	北陸193号	地域慣行防除
	ミズホチカラ	
	あきまさり	
菊池市	北陸193号	地域慣行防除
	モミロマン	
	あきまさり	
合志市 (農研センター)	北陸193号	無防除
	ヒノヒカリ (主食用) ^{注2)}	

注1) インディカ種を親に持つ品種：北陸193号、ミズホチカラ、モミロマン

ジャポニカ種：あきまさり、ヒノヒカリ

注2) ヒノヒカリは10月上旬収穫。その他は、10月下旬以降収穫。

(2) 調査方法

2種ウンカの成幼虫数を、1調査区あたり2ヶ所から25株(合志市は30株)ずつ計50株(合志市は60株)を選び払い落とし法で調査した。なお、調査間隔は、移植約14日後の7月上旬から10~15日間隔とした。

2 調査結果

(1) トビイロウンカ

- 平成23年の予察灯における6~7月の誘殺数は確認されず(平年120頭、前年104頭)、平年・前年比少であり、飛来量は少なかった。なお、8月14~19日に初飛来が確認され、平年・前年より2ヶ月近く遅かった。
- 合志市の「ヒノヒカリ」では、作期を通じて1頭/株以下で推移し、収穫前の9月下旬も0.6頭/株と低く、少発生で終息した(図1)。一方、10月下旬以降に収穫する「北陸193号」では、9月下旬まで「ヒノヒカリ」と同様に低密度であったが、9月下旬以降急速に密度が高まり、収穫前の10月下旬には28.2頭/株となった(図1)。

- ・10月下旬以降収穫の宇城市・菊池市のほ場では、全品種で合志市の「北陸193号」と同様の発生推移が認められた（図2）。

(2) セジロウンカ

- ・平成23年の予察灯における6～7月の誘殺数は、291頭（平成4年、273頭、前年2,207頭）で、平成・前年比少であり、飛来量は少なかった。
- ・合志市の「ヒノヒカリ」では、7月下旬にピークの2.9頭/株となり、その後徐々に低下した（図3）。一方、「北陸193号」では、7月下旬以降も密度が高まり、8月中旬にピークの16.5頭/株となった（図3）。
- ・宇城市と菊池市の「北陸193号」「ミズホチカラ」「モミロマン」では、合志市の「北陸193号」と同様に8月中旬まで密度が上昇し、「あきまさり」の10倍以上となった（図4）。

3 まとめおよび防除対策

飼料用米は、主食用米よりも収穫期間が遅く、トビイロウンカの増殖期間が長くなるため、収穫期の密度が主食用米に比べ高くなりやすいと考えられる。また、飼料用米の中でもインディカ種を親に持つ「北陸193号」「ミズホチカラ」「モミロマン」は、ジャポニカ種に比べ、セジロウンカの密度が高まった。これは、セジロウンカに対する生体防御反応が弱いインディカ種の遺伝子を引き継いでいるためと考えられる。

平成23年は2種ウンカの飛来が少なかったにも関わらず、発生に大きな差が認められたことから、飼料用米は主食用米に比べて2種ウンカに対する被害リスクが高いと考えられる。

以上のことから、飼料用米防除については、下記の点に留意する。

- ・トビイロウンカの防除に重点的を置く。
- ・インディカ種を親に持つ飼料用米品種については、
 - ①トビイロウンカだけでなくセジロウンカにも効果の高い箱施用剤を使用する。防除薬剤は、平成23年度研究成果情報「主食用水稲での4種害虫に対する箱施用剤の防除効果」(<http://www.pref.kumamoto.jp/uploaded/attachment/47796.pdf>)を参考に選定する。
 - ②本田でのセジロウンカの発生に注意し、密度が高い場合は臨機防除を行う。防除にあたっては、(独)農業・食品産業技術総合研究機構が発行している「飼料用米の生産・給与技術マニュアル」を遵守する。

※なお、本文はホームページ「<http://www.jpjn.ne.jp/kumamoto/>」上に掲載しています。

熊本県病虫害防除所

(熊本県農業研究センター 生産環境研究所 病虫害研究室 予察指導係)

担当：東

TEL 096-248-6490

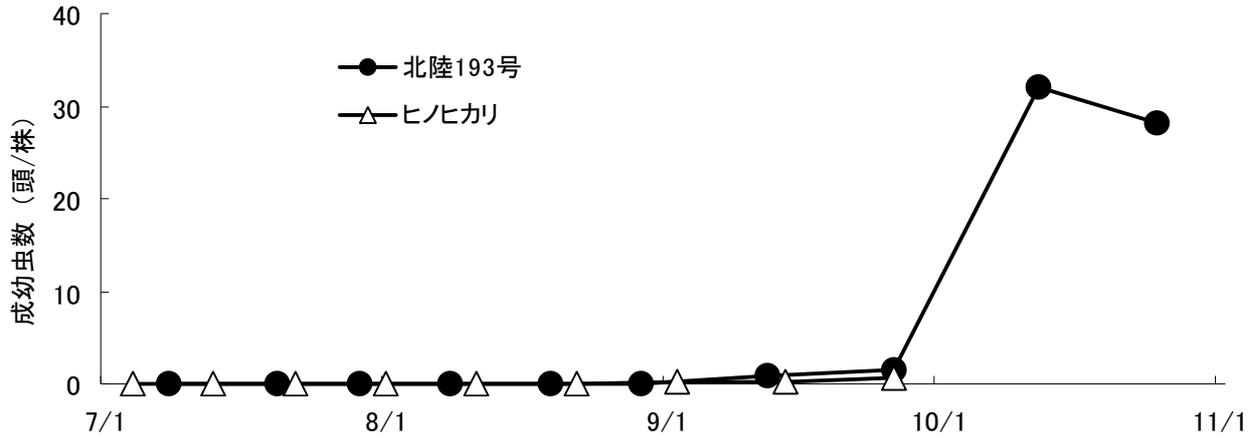


図1 合志市（無防除田）におけるトビイロウンカの発生推移

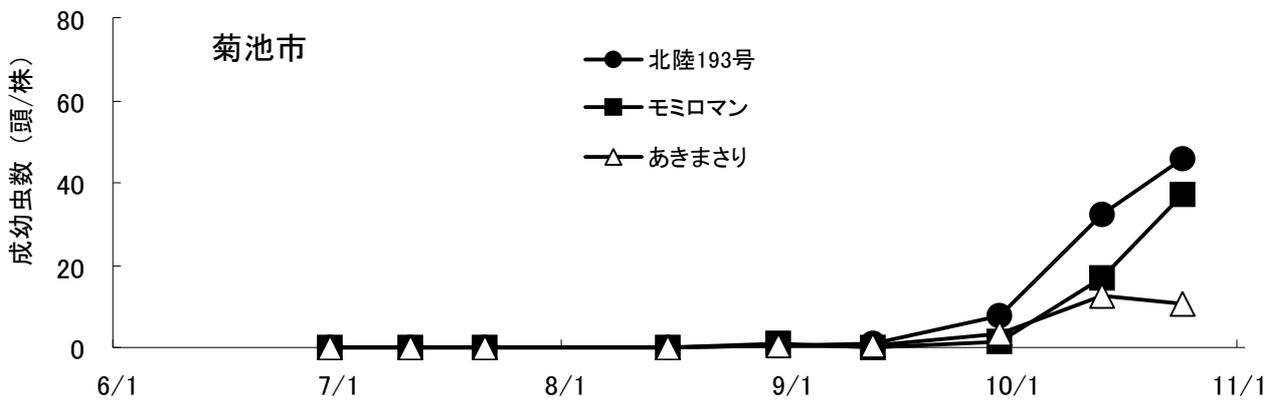
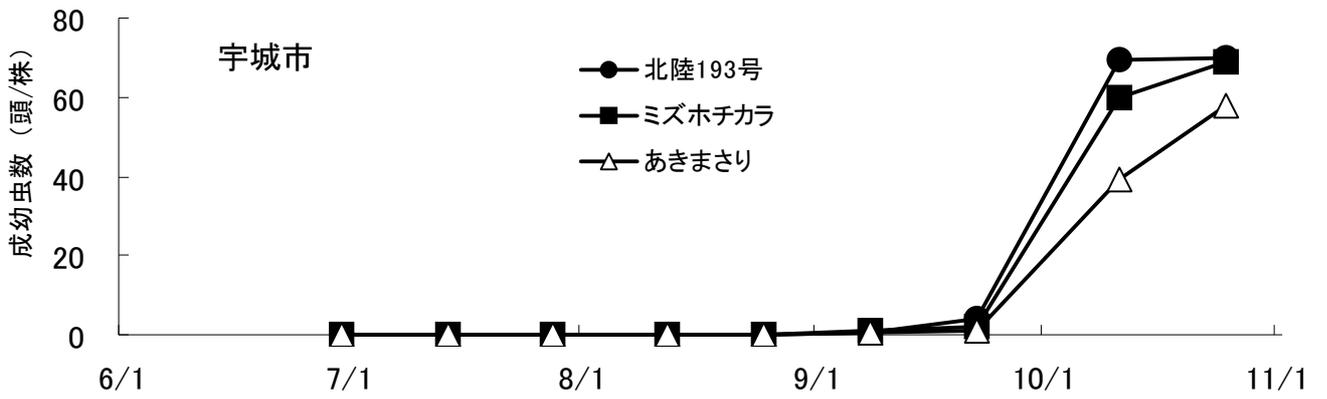


図2 宇城市、菊池市におけるトビイロウンカの発生推移

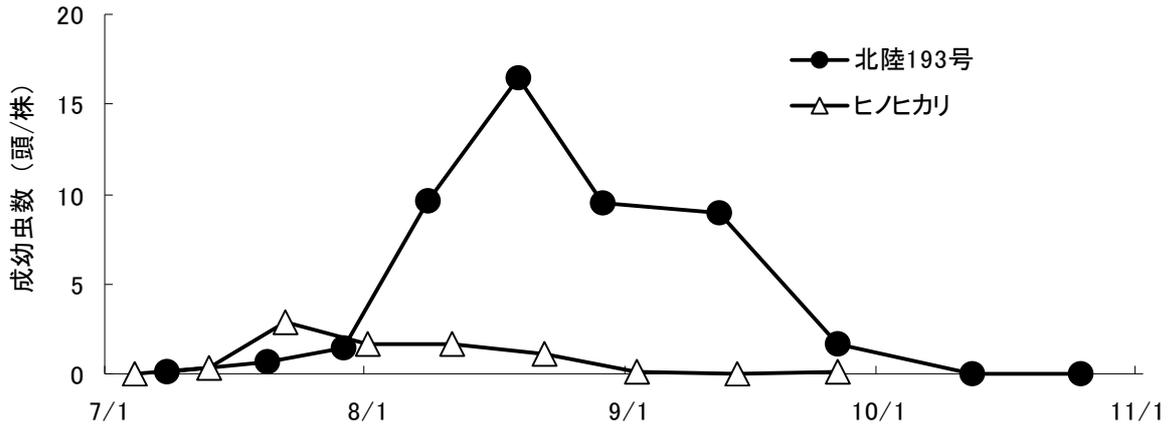


図3 合志市（無防除田）におけるセジロウンカの発生推移

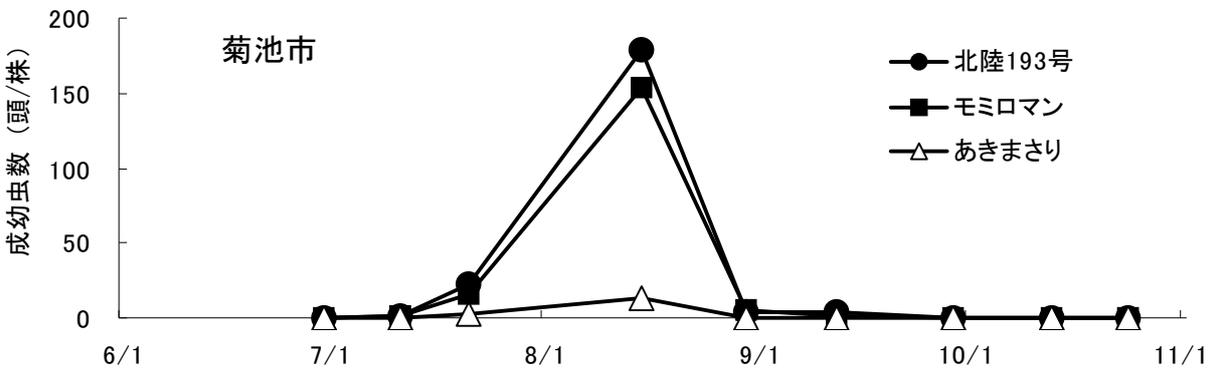
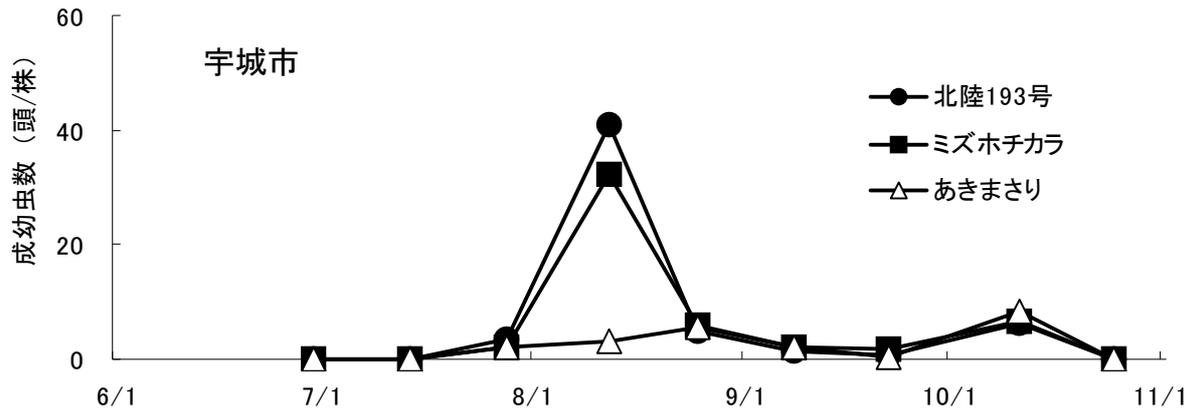


図4 宇城市、菊池市におけるセジロウンカの発生推移